

2013 (平成25)年3月1日(金)
発行: 拓殖大学 総合企画部広報室
〒112-8585 東京都文京区小日向3-4-14
TEL: 03-3947-7160
FAX: 03-3947-7812
http://www.takushoku-u.ac.jp



国体準優勝、全日本選手権準優勝の藤田大和選手。



リーグ戦で階級賞を受賞した藤田大和選手、藤田健児選手、井上選手(左から)



国体準優勝の野澤選手。

5月12日〜7月14日に東京・後楽園ホールで開催された第65回関東大学リーグ戦で本学ボクシング部は準優勝となった。優勝こそ逃したが藤田健児選手(国際学科1年)、井上浩樹選手(国際学科2年)、齋藤晶選手(経済学科3年)がそれぞれ階級賞を受賞した。

10月3日〜8日に開催された第67回国民体育大会では野邊勇作選手(経済学科2年)と藤田健児選手が準優勝。11月21日〜25日に開催された第82回全日本アマチュアボクシング選手権大会では藤田大和選手(国際学科2年)、井上選手が準優勝となった。

関東大学女子選手権大会

2年ぶり5度目の優勝!



さらなる活躍が期待されるエース瀬崎選手。



キャプテンとしてチームを支えてきた富永選手。

また、11月20日〜24日に開催された全日本大学選手権(インカレ)では3位となり、瀬崎選手が優秀選手賞・アシスト王、富永選手がMIP賞、橋詰選手がリバウンド王に輝いた。観客投票によるMIP賞の常連で、バスケットボールファンに愛されたキャプテン、富永選手も今年ついに卒業。2年次に達成した関東大学女子選手権、関東大学女子リーグ戦、全日本大学選手権のすべてを制覇した大学3冠の偉業は、これからもバスケットボール部の大きな目標になる。

2012-2013 拓大スポーツプレイバック!

4年生の卒業を間近に控え、各クラブは新チームの体制作りが進んでいます。2012年シーズン、「拓スポ」の紙面を飾った選手たちの活躍をプレイバック!

箱根駅伝 野本選手マラソン!



3度目の箱根を走る野本選手。これからは実業団での活躍に注目したい。

1月2日〜3日に開催された第89回箱根駅伝。関東学連選抜チームのメンバーとして出場した野本大喜選手(経営学科4年)が3度目の箱根駅伝(往路3区)を走った。野本選手はレース後に「拓殖大学の代表として強い意識で臨んだが、満足のいく結果が出せず悔しい思いで一杯。大学生活で学んだことを生かし実業団で結果を残したい」とコメント。

野本選手は卒業後、安川電機陸上部への入部が内定している。

全日本学生選手権大会 小森・横澤・木下・赤熊4選手が優勝!
全日本大学グレコローマン選手権大会 2年ぶり9回目の団体総合優勝!!



2冠を達成しユニバーシアード日本代表に決定した小森選手(赤)の豪快なスープレックス。



ユニバーシアード日本代表に決定した赤熊選手。



全日本学生選手権で優勝した横澤選手。



全日本大学グレコローマン選手権で最優秀賞を獲得した木下選手。

8月22日〜26日、大阪府堺市金剛体育館で開催された全日本学生レスリング選手権大会で、フリースタイル84kg・赤熊猶弥(経済学科3年)、同96kg級・木下駿(経営学科4年)、グレコローマンスタイル74kg級・小森大祐(経済学科4年)、同84kg級・横澤徹(経済学科4年)の4選手が優勝!

10月18日〜19日に駒沢オリンピック公園総合運動場体育館で開催された全日本大学グレコローマン選手権大会では、2年ぶり9回目の団体総合優勝。個人では木下選手が優勝、大会最優秀選手賞も獲得した。

また、11月27日に開催されたユニバーシアード代表選考会にのぞんだ小森選手、赤熊選手が日本代表に決定。大会は今年7月、カザン(ロシア)で行われる予定となっている。

関東大学リーグ戦3位 全国大学選手権に3年ぶり3度目の出場!



大学日本一に挑んだラグビー部(オレンジ)



チームをまとめた主将の清水 昇選手(経営学科4年)

9月16日〜11月24日に開催された関東大学ラグビーフットボールリーグ戦。最終戦の中央大学戦に勝利した本学ラグビー部は4勝3敗の成績でリーグ3位となり、3年ぶり3度目となる全国大学選手権大会出場が決定した。

12月9日〜23日に開催された全国大学選手権大会セカンドステージでは1勝2敗でDグループ3位となった。

第62回 日本スポーツ賞 2012
日：1月18日 主催：読売新聞社
会場：ホテルオークラ東京 本館1F「平安の間」



表彰式には日本レスリング協会副会長の馳 浩氏(右)も出席。

レスリング ロンドン五輪男女日本代表選手団
米満選手・湯元選手が
日本スポーツ賞大賞を受賞!!

スポーツ界最高の栄誉を受賞し
リオ五輪での活躍を誓う!

8月のロンドンオリンピックには卒業生7名が活躍しました。オリンピックのメダリストたちは国内の様々な賞も受賞しましたが、そのひとつ日本スポーツ賞(読売新聞社制定)の表彰式が行われ、グランプリにはレスリング男女日本代表選手団が選ばれました。表彰式会場で金メダリスト・米満達弘選手(09卒)銅メダリスト湯元進一選手(07卒)に話を聞きました。

米満選手は「ロンドン五輪はもう過去のもの。自分としてはけっして満足はいくレスリングではなかった。次のオリンピックに向けて日々精進する」と力強くコメント。会場から大きな拍手が贈られました。湯元選手は「レスリングチームとして賞をもらえたことが嬉しい。吉田選手がスパリングパートナーに困ったときは、いつでも自衛隊に来てください。お相手します」と付け加え、選手団のチームワークの良さをアピールしました。



選手団を代表して受賞した米満選手、湯元選手。

麗澤会スポーツニュース



打越選手のフリースロー

対戦成績
1回戦 ○拓殖大学 92-59 アカシアクラブ(北海道代表)
2回戦 ●拓殖大学 66-82 日立ハイテク(WJBL10位)

第79回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会(オールジャパン2013)が1月1日〜13日に国立代々木競技場第1・2体育館で開催。女子日本リーグ(WJBL)所属チームも参加し、女子バスケットボール日本一を競った。拓大女子バスケットボール部・オレンジラビッツは2回戦で実業団の強豪、日立ハイテク・クーガーズと対戦。善戦健闘したが惜しくも敗れた。主将の富永 藍選手(経営学科4年)は「最後の大会を無事終える事ができました。実業団との貴重な試合体験を生かし、新チーム一丸となって頑張っていくてほしい」と、後輩にエールを送った。



山本選手(中央左)、ウベ選手(右)



谷地選手(中央オレンジのユニホーム)

対戦成績(1勝2敗)
1回戦 ●拓殖大学 3-65 帝京大学
2回戦 ●拓殖大学 19-25 立命館大学
3回戦 ○拓殖大学 62-12 福岡工業大学
全国大学ラグビー日本一を決定する第49回全国大学ラグビーフットボール選手権大会。関東大学選手権1部3位の拓大ラグビー部が3年ぶり3度目の出場を果たした。12月9日〜23日に秩父宮ラグビーグラウンド等でセカンドステージが開催され、本学は1勝2敗の成績でDグループ3位となった。清水 昇主将(経営学科4年)は「今シーズンでは、チームメイとのみんなが最後まで頑張ってくれましたが、決勝トーナメントにあと1歩届きませんでした。新チームには今年以上の成績を期待しています」と、更なるチームの飛躍を後輩に託した。



勝ち名乗りを上げる藤田選手(右)

対戦成績
1回戦 ○藤田(日本) 19-12 ●(インド)
2回戦 ○藤田(日本) 14- 7 ●(エクアドル)
3回戦 ●藤田(日本) 6- 9 ○(プエルトリコ)

日本代表選手に選出された藤田選手がベスト16に
世界ユースボクシング選手権大会が11月28日(水)〜12月7日(金)にアルメニア共和国・エレバンで開催された。バンナム級の藤田健児選手(国際学科1年)が日本代表として出場しベスト16と健闘した。藤田選手は「今回の大会では3回戦で敗れてしまい悔しい思いがいっぱいです。しかし、世界との差は感じませんでした」と強気のコメント。



準優勝となった選手たち。指導者・OBといっしょに。

レスリング部
天皇杯全日本レスリング選手権大会
12月21日〜23日 国立代々木競技場・第2体育館
赤熊、木下、佐々木の3選手が
天皇杯全日本選手権ベスト8
レスリング日本一を決定する天皇杯全日本レスリング選手権大会が12月21日〜23日に国立代々木競技場・第2体育館で開催され、フリースタイル84kg級・赤熊弥選手(経済学科3年)、同級・木下 駿選手(経営学科4年)、グレコロマン60kg級・佐々木 晋選手(経営学科4年)がベスト8に終わった。赤熊選手は「今大会は自分のミスで負けてしまった。次の大会まで練習で自分を追い込み、勝利します」と巻き返しを誓った。



赤熊選手(上)



佐々木選手(右)



木下選手(右)

男子団体実業団技術優勝
全国学生実業団優勝大会
12月2日 東京武道館
第46回全国学生実業団優勝大会が12月2日(日)に東京武道館で開催された。本学は男子団体実業団技術に出場し準優勝となった。男子個人実業団技術には金井篤希(経営学科4年)、鈴木航大(会計学科4年)、荒川雄太郎(デザイン学科3年)、今田貴也(経営学科3年)、高柳圭太(経営学科2年)の5人が出場した。

ボクシング部
世界ユースボクシング選手権大会
11月28日〜12月7日
アルメニア共和国・エレバン
日本代表選手に選出された藤田選手がベスト16に
世界ユースボクシング選手権大会が11月28日(水)〜12月7日(金)にアルメニア共和国・エレバンで開催された。バンナム級の藤田健児選手(国際学科1年)が日本代表として出場しベスト16と健闘した。藤田選手は「今回の大会では3回戦で敗れてしまい悔しい思いがいっぱいです。しかし、世界との差は感じませんでした」と強気のコメント。